

5月11日ドローンと火山で2銘柄！

4月21日、首相官邸に「ドローン」が落ちて話題になりましたね。それまで「ドローン」ってものを知らなかった人も多いと思いますが、ニュースのおかげで、今ではもう、すっかり「ドローン」は人々に認知をされてきました。

実際、昨年頃から、「ドローン」の将来性を買って、アナリストたちは関連銘柄を探してはいたのです。工場での短距離の物品の輸送や、大気などの環境調査、セキュリティなど、その用途は広く、近未来の有力商材なのです。

しかし、首相官邸への落下などから、ドローンへの規制強化が行われる流れになり、関連銘柄への調査やレポートも、ちょっと熱が冷めてかけてきていました。

ところが、ところが！
世の中、何が功を奏するかわかりませんね。

御嶽山の噴火以来、日本のあちこちで火山活動が活発化してきていましたが、ついに箱根で噴火の恐れがある・・・という状況に至り、再度、ドローンに注目がされる可能性が出てきたのです。

火山の噴火予知には、やはり火口周辺のガスの分析が必要です。それに威力を発揮するのが、大型ドローンともいえるべき、小型無人飛行機なのです（大型なのか小型なのか、複雑ですね）。

箱根町の観光関連の方々にはとても気の毒なのですが、ドローンを含めた、火山系防災関連銘柄を、二つだけ、覚えておきましょう。

ヤマハ発動機（7272）

同社の小型無人飛行機、RMAX-G1は、すでに囲う分析に実績があり。

応用地質（9755）

小型ガス観測装置による火山モニタリングの実績は一番